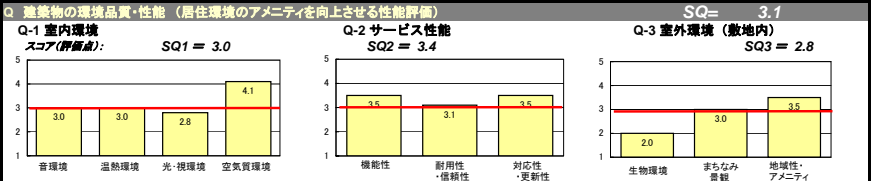


作成日 2006年9月5日 作成者 アジグシステム 確認日 1900年1月0日 確認者 池田

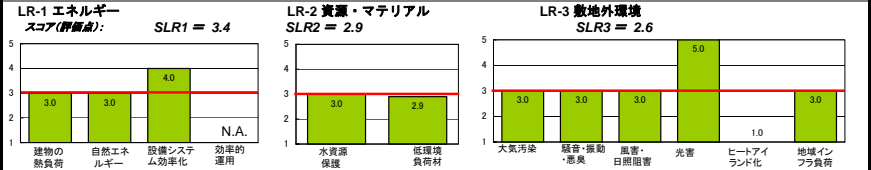
(1) 建物概要

建物名称	(仮称)美濃山4地区プロジェクト	敷地面積	3,681 m ²	外観バース等 図を貼り付けるときは シートの保護を解除してください
建物用途	集合住宅	建築面積	869 m ²	
建設地	京都府八幡市手水ヶ谷13番外	延床面積	8,117 m ²	
気候区分	地域区分V	階数	地上15F 地下1F	
地域・地区	第1種中高層住居専用地域、防火	構造	鉄筋コンクリート造	
竣工年	2008年3月 予定	平均居住人員	3 人	
		年間使用時間	8,760 時間/年	

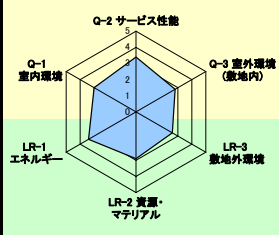
(2-1) 環境性能評価結果 (バーチャート)



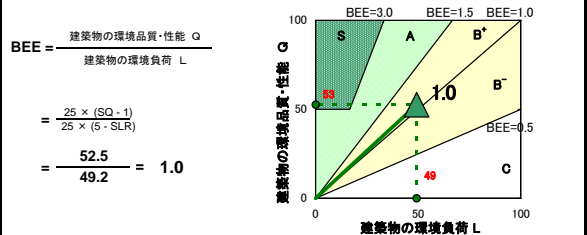
LR 建築物の環境負荷低減性 (環境負荷を低減させる性能評価)



(2-2) 環境性能評価結果 (レーダーチャート)



(2-3) 環境性能効率



(3) 建築物の総合的な環境性能とは別枠の重要評価項目

(3-1) 建築物の代表的な環境負荷に関する定量的な評価指標

＜実施設計段階、竣工段階で詳細な評価を行う場合に記入＞

年間延床面積あたり指標	人・時間あたり指標	年間延床面積あたり削減率	削減率 %
運用エネルギー消費量	MJ/年m ²	MJ/人時	MJ/年m ²
運用CO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²
水消費量	m ³ /年m ²	m ³ /人時	m ³ /年m ²
LCCO ₂ 排出量	kg-CO ₂ /年m ²	kg-CO ₂ /人時	kg-CO ₂ /年m ²
LC廃棄物量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²
LC資源消費量	t/年m ²	t/人時	t/年m ²

(3-2) デザインプロセスの評価

設計段階	建設段階
有資格者による設計	環境管理計画

凡例: Q: Quality, L: Load, LR: Load Reduction, SQ: Score of Q category, SLR: Score of LR category, BEE: Building Environmental Efficiency

注1: 当該対象区における標準的な計画の得点が3点、NAは評価対象外とした項目を示す。敷地選定に関わる評価は対象外。

注2: Qは、環境品質・性能(Q)のスコアSQ(Q-1, Q-2, Q-3のスコア)にそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。

注3: Lは、環境負荷低減性(LR)のスコアSLR(LR-1, LR-2, LR-3のスコア)にそれぞれの重み係数を乗じた合計値から算定。

注4: (3)の評価はオプションとし、実施設計段階および竣工段階で可能な範囲で記入する。